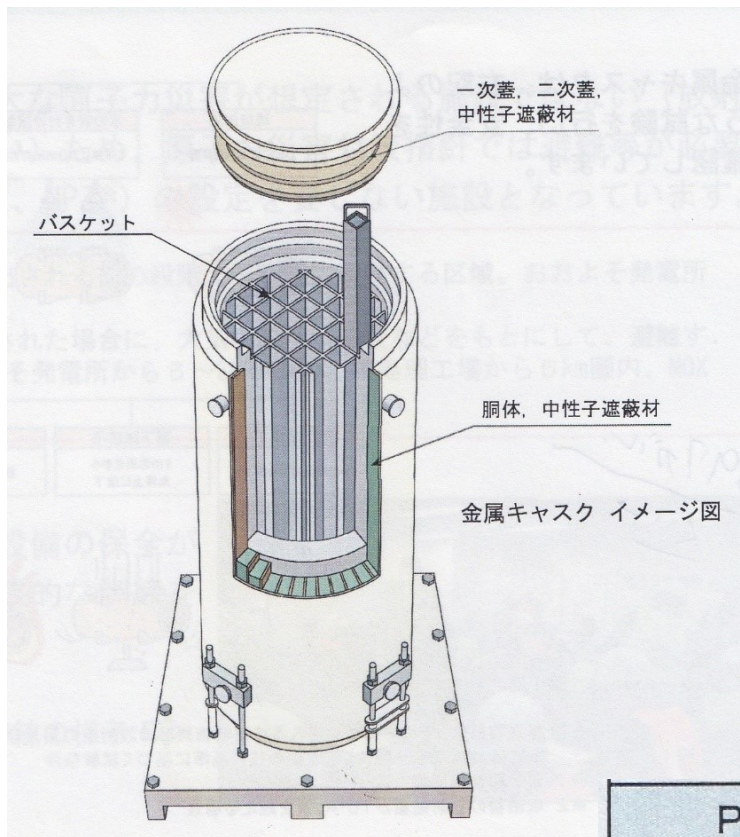


資料 1

金属キャスク むつ市「リサイクル燃料備蓄センター」 東電・日本原電



PWR用キャスク（タイプ1）

- ・ 全長 : 約5.2m
- ・ 直径（外径） : 約2.6m
- ・ 重量 : 約114t
- ・ 燃料集合体数 : 21体
- ・ ウラン重量 : 約10t

むつ市民 そこが最終処分場になってしまわないか、不安
むつの「核の永久貯蔵」に繋がるのでは・・・との不安。

東電 搬出後、また戻すという事は考えていない

「リサイクル燃料備蓄センター」

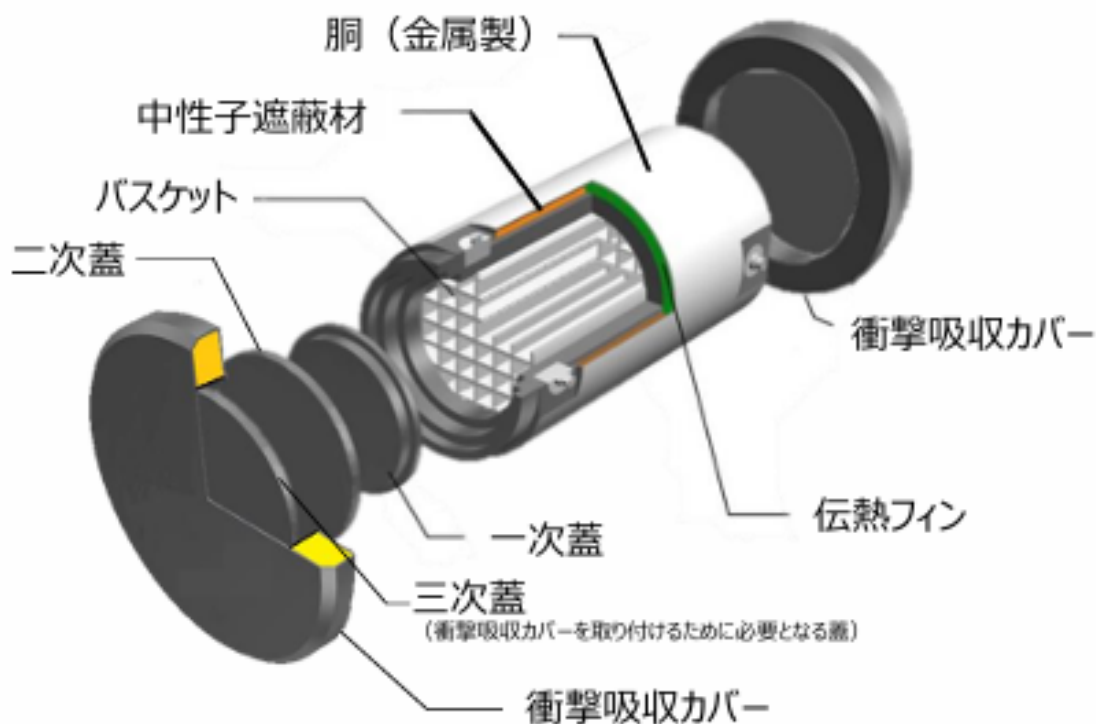
- 使用済み燃料中間貯蔵施設に関する協定書（立地協定書） 調印
 ➔ 最長 50 年間の約束
- 使用済み燃料貯蔵事業 （国：経産大臣に提出）

●エネルギー基本計画（2025.2.18）閣議決定

・安定的かつ継続的に原子力を利用する上で、使用済み燃料について、再処理するまでの間、貯蔵する能力の拡大が重要である。・・・原子力発電所の敷地内外を問わず、新たな地点の可能性を幅広く検討しながら、中間貯蔵施設や乾式貯蔵施設等の建設・活用を推進する。

●関電：乾式貯蔵は、使用済燃料プールで十分に冷却※した使用済燃料の一部を、再処理のために搬出されるまでの間、「キャスク」と呼ばれる金属製の頑丈な容器に収納

金属キャスク 関西電力資料より



【輸送・貯蔵兼用キャスクの主な仕様】

	美浜	高浜、大飯
主要寸法 (キャスク本体)	全長 約5.2m 外径 約2.5m	全長 約5.2m 外径 約2.6m
収納燃料	15×15型ウラン燃料	15×15型ウラン燃料 17×17型ウラン燃料
使用済燃料収納体数	21体	24体
収納する燃料の冷却期間	15年以上	
設計貯蔵期間	60年	

1/4 「乾式貯蔵施設」の計画がある国内の原子力発電所



資料 2

運動部活動の地域移行に関する検討会議提言（令和4年6月6日）の概要



スポーツ庁

2. 目指す姿

目指す姿

- 少子化の中でも、将来にわたり我が国の子供たちがスポーツに継続して親しむことができる機会を確保。
このことは、学校の働き方改革を推進し、学校教育の質も向上。
- スポーツは、自発的な参画を通して「楽しさ」「喜び」を感じることに本質。自己実現、活力ある社会と絆の強い社会創り。
部活動の意義の継承・発展、新しい価値の創出。
- 地域の持続可能で多様なスポーツ環境を一体的に整備し、子供たちの多様な体験機会を確保。（スポーツ団体等の組織化、指導者や施設の確保、複数種目等の活動も提供）